

授業科目名・形態	高齢者と健康 講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	中里 操	開講期	2年前期	単位数 2

【授業の主題】

超高齢社会を迎えた日本において、高齢者の医療・介護はきわめて重要な問題となっています。

疾病や障害をもつ高齢者を対象としてサービスを提供するのが、医療や介護の専門職です。そのためには、基本的な医学知識をもつことが不可欠です。

【到達目標】

- 1) 老化の影響や高齢者がかかりやすい疾病を知る。
- 2) 高齢者にみられる疾病の症状・特徴を理解する。
- 3) 病気に対する対処方法のポイントを習得する。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 高齢者の健康生活とは
- 第 2 回 健康生活モデル・基本的援助技術
- 第 3 回 加齢による呼吸器機能の変化
- 第 4 回 加齢による食べる・飲むことにかかわる機能の変化
- 第 5 回 加齢による排泄機能の変化
- 第 6 回 加齢による睡眠の変化
- 第 7 回 加齢による骨・関節・筋の変化①
- 第 8 回 加齢による骨・関節・筋の変化②
- 第 9 回 加齢による視覚機能の変化
- 第 10 回 加齢による聞く・話すことに関する機能変化
- 第 11 回 加齢による皮膚を保つことに関する機能の変化
- 第 12 回 加齢による記憶する・考える(認知)ことに関する機能の変化
- 第 13 回 加齢によることに関する機能の変化
- 第 14 回 高齢者にみられる感染症
- 第 15 回 その人らしい最期を迎えるための援助

【授業実施方法】

講義形式とする。

【授業準備】

講義終了後は、復習を行い習得する。

【主な関連する科目】

エイジング論

【教科書等】

資料を配布する。

【参考文献】

- 「第 11 巻 発達と老化の理解」中央法規出版
- 「第 1 巻 人体の構造と機能及び疾病 第 2 版」中央法規出版
- 「老年看護学 高齢者の健康生活を支える看護」太田喜久子編著 医歯薬出版株隙会社
- 「高齢者のからだと病気」杉山孝博著 中央法規出版

【成績評価方法】

受講状況・小試験 30%、定期試験結果 70%による総合評価

【学生へのメッセージ】

高齢者の健康と疾病の症状を、仕事に活用できるように学んでほしい。